

第2章 第5次廿日市市総合計画の進捗状況

1 「まちづくり指標」と「めざそう値」

本章で述べている「まちづくり指標」と「めざそう値」については、第5次廿日市市総合計画前期基本計画において次のように設定している。

【第5次廿日市市総合計画前期基本計画の抜粋】

まちづくり指標

「まちづくり指標」と「めざそう値」は、それぞれの地域での事業展開を考慮しながら、廿日市市全体をとらえて設定しています。

「現況値」は、原則として、平成 19(2007)年度の数値とし、「めざそう値」は、前期基本計画の最終年度（平成 23(2011)年度）と総合計画の目標年次（平成 27(2015)年度）の2つの年次における具体的な目標数値を設定しています。

めざそう値は、次の観点で設定しています。

- 1 期間内で実施する事業の量を反映しています。
- 2 これまでの情勢を踏まえながら、新たな取り組みによる事業効果を予測しています。
- 3 他自治体の状況を参考にしています。
- 4 現実的な数値だけではなく、こうありたいという思いを込めています。

基本計画の進め方

基本計画を進めるに当たっては、「まちづくり指標」を活用して、マネジメントサイクル（計画「Plan」→実施「Do」→評価「Check」→改善「Action」）を確立しながら、諸情勢に応じた効果的な施策の展開を図ります。

まちづくり指標の達成状況の点検・公表

平成 23(2011)年度に各種データの収集や市民満足度調査を行い、その内容と前期基本計画で定めたまちづくり指標を比較することなどにより、指標の達成状況を点検し、その結果を廿日市市総合計画審議会に報告するとともに、市民に公表します。

2 まちづくり指標の進行管理

第5次廿日市市総合計画の進捗状況を確認するため、前期基本計画に掲げたまちづくり指標に係る平成 22(2010)年度末の現況値を次ページ以降のまちづくり指標進行管理総括表のとおり取りまとめた。

まちづくり指標の現況を確認し、さらなる第5次廿日市市総合計画の進行を図るため、平成 23(2011)年度の目標値の達成をめざした取り組みを進めることとしている。

第5次廿日市市総合計画前期基本計画 まちづくり指標進行管理総括表

まちづくり指標は、アンケート調査などに基づく数値を指標にしているものがある。前期基本計画の中途である現在においてはアンケート調査などを実施していないため現況値が把握できないものがあり、そのような指標に係る現況値は「―」で表示した。
また、策定当時から事情が変化して適切に現状を把握することが難しい指標もあるが、原則として、策定時の考え方に基づいた現況値を算出した。
※ 進捗状況凡例 ◎：平成23年度目標達成、○：平成19年度数値から改善、△：平成19年度数値と同数値又は後退

基本目標1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち

■政策目標1-1 安全で安心して暮らせるまちに

まちづくり指標	策定時現況値 (平成19年度)	現況値 (平成22年度)	進捗 状況	めざそう値 (平成23年度)	めざそう値 (平成27年度)
犯罪発生件数 (資料：廿日市警察署作成データ)	1,008件	980件	○	900件	800件
交通事故による子どもと高齢者の死傷者数 (資料：広島県警察本部「広島交通統計」)	195人	148人	◎	195人	175人
消費生活相談件数 (資料：市役所保有データ)	627件	620件	◎	630件	630件
自主防災組織の組織率 (資料：広島県「自主防災組織状況調査」)	49.6%	83.1%	◎	65%	70%
公共施設(市有)の耐震化率 (資料：市役所保有データ)	73.1%	75.2%	○	78.2%	80.2%

■政策目標1-2 (戦略) 恵まれた環境を未来につなぐまちに

まちづくり指標	策定時現況値 (平成19年度)	現況値 (平成22年度)	進捗 状況	めざそう値 (平成23年度)	めざそう値 (平成27年度)
市役所に起因する二酸化炭素の削減率(※1) (資料：市役所「地球温暖化対策推進法に基づく実行計画に係る実施状況調査」)	1,140t⇒1,594t (H18)	1,383t 13.2%減 (H21)	◎	H19比 10%減	H19比 10%減
環境学習・環境保全活動に取り組む市民の数 (資料：市役所「はつかいちエコサポーターズクラブ会員数」)	50人	59人	○	70人	70人
環境貢献林整備面積 (資料：市役所「ひろしまの森づくり事業取組実績」)	64.68ha	156.78ha (H21～22累計)	○	200ha (H21～23累計)	400ha (H21～27累計)
森林・林業体験活動団体数 (資料：市役所「ひろしまの森づくり事業取組実績」)	3団体	7団体	○	10団体	10団体
海浜清掃活動などの参加者人数 (資料：市役所保有データ)	700人	570人	△	700人	700人

※1 平成19(2007)年に二酸化炭素(CO2)排出量算定に係る換算係数が変更。現在の換算係数で算定した平成18(2006)年の二酸化炭素排出量は1,594tとなる。

■政策目標1-3 やさしい心で支え合い、健やかに暮らせるまちに

まちづくり指標	策定時現況値 (平成19年度)	現況値 (平成22年度)	進捗 状況	めざそう値 (平成23年度)	めざそう値 (平成27年度)
「人権週間」の認知状況 (資料：市役所「人権問題意識調査」)	36.5% (H16)	32.5%	△	40.0% (H21)	45.0% (H26)
社会全体での男女の平等感 (資料：市役所「男女共同参画に関する市民アンケート調査」)	11.1% (H15)	14.9%	○	30% (H21)	40% (H26)
市の審議会における女性委員の占める割合 (資料：市役所保有データ)	21.8% (H20)	21.1%	△	33.3%	40% (H26)
BMI 25以上の人の割合 (資料：市役所「廿日市市健康増進計画アンケート」)	男性21% 女性14.5%	男性22.5% 女性14.5%	△	男性15%以下	男性15%以下

まちづくり指標	策定時現況値 (平成19年度)	現況値 (平成22年度)	進捗 状況	めざそう値 (平成23年度)	めざそう値 (平成27年度)
特定健康診査の受診率 (資料：市役所保有データ)	57.3%	—	—	70%	70%
運動習慣のある人（1日30分以上、週2回以上、1年以上継続している人）の割合 (資料：市役所「廿日市市健康増進計画アンケート調査」)	男性35.7% 女性32.8%	—	—	男性40%以上 女性37%以上	男性40%以上 女性37%以上
地域の助け合いができていると思う人の割合 (資料：市役所「地域福祉計画策定に係るアンケート」)	44.0%	—	—	50%	55%
近所の人と困ったときに助け合うような付き合いをしている人の割合 (資料：市役所「地域福祉計画策定に係るアンケート」)	15.3%	—	—	20%	25%
福祉ボランティアの登録者数（※2） (資料：(社)廿日市市社会福祉協議会「ささえ愛ネットはつかいち登録者数」)	930人	—	—	975人	1,020人
就学前の子どもで、かかりつけ医のいる割合 (資料：市役所「4か月児・1歳6か月児・3歳6か月児健康診査受診時の問診票」)	81.5%	93.7%	○	95%	95%
救急救命士の数 (資料：市役所保有データ)	38人	41人	○	42人	46人

※2（参考）ボランティア保険加入者数 平成19年：2,075人、平成20年：2,130人、平成21年：2,096人、平成22年：1,746人

■政策目標1－4（戦略） 子どもが健やかに育つまちに

まちづくり指標	策定時現況値 (平成19年度)	現況値 (平成22年度)	進捗 状況	めざそう値 (平成23年度)	めざそう値 (平成27年度)
子育てサポーター養成講座受講者数 (資料：市役所保有データ)	180人 (H14～19累計)	343人 (H14～22累計)	○	390人 (H14～23累計)	630人 (H14～27累計)
子育てに悩んでいる・不安を持っている親の割合 (資料：市役所「1歳6か月児健康診査受診時の問診票」)	39.3%	39.4%	△	37.3%	35.4%
市内保育園での特別保育の実施数 (資料：市役所保有データ)	延長保育 9園 一時保育 7園 休日保育 0園	延長保育 10園 一時保育 6園 休日保育 0園	△	延長保育 11園 一時保育 8園 休日保育 2園	延長保育 11園 一時保育 8園 休日保育 2園
家庭および地域による支援体制が整っている学校が存在する中学校区数 (資料：市役所保有データ)	0中学校区	2中学校区	○	4中学校区	10中学校区
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している子どもの割合 (資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」)	小学校 72.5% 中学校 66.7%	小学校 77.3% 中学校 70.3%	◎	小学校 75.0% 中学校 69.2%	小学校 77.5% 中学校 71.7%
非木造の2階建以上または非木造の延床面積200㎡超の小・中学校施設の耐震化率 (資料：文部科学省「公立学校施設の耐震改修状況調査」)	57.0%	63.1%	○	72.6%	79.3%

■政策目標1－5 多様な暮らしが選べ、快適に暮らせるまちに

まちづくり指標	策定時現況値 (平成19年度)	現況値 (平成22年度)	進捗 状況	めざそう値 (平成23年度)	めざそう値 (平成27年度)
大規模住宅団地（一定の生活圏域を形成しているもの）の0～39歳の人口 (資料：市役所保有データ)	5,946人 (H20)	5,313人 (H23)	△	5,600人	5,600人
ふるさと交流市民（準市民）の人口 (資料：市役所保有データ)	0人	0人	△	90人	210人
公共施設（市有）の耐震化率 (資料：市役所保有データ)	73.1%	75.2%	○	78.2%	80.2%
石綿管の残存延長 (資料：市役所「水道事業年報」)	21.6km	9.3km	○	8.6km	0km
コミュニティバス・自主運行バスの年間利用者数 (資料：市役所保有データ)	35.7万人	34.2万人	△	38万人	40万人

基本目標２ 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち

■政策目標２－１ 多様な機能の発揮によって、出会いとにぎわいがあるまちに

まちづくり指標	策定時現況値 (平成19年度)	現況値 (平成22年度)	進捗 状況	めざそう値 (平成23年度)	めざそう値 (平成27年度)
シビックコア周辺地区の駅の一日平均乗降客数 ＪＲ西日本：廿日市駅 宮内串戸駅 広島電鉄：広電廿日市駅 廿日市市役所前駅 宮内駅 ＪＡ広島病院前駅 (資料：ＪＲ西日本旅客鉄道株式会社・広島電鉄株式会社作成データ)	25,984人 (H18)	26,348人 (H21)	◎	26,200人	28,400人
シビックコア周辺地区内の小売業年間商品販売額 (資料：経済産業省「商業統計調査」)	154億円	—	—	— (調査なし)	180億円
市民活動センター機能が導入された地域数 (資料：市役所保有データ)	1 地域	2 地域	◎	2 地域	5 地域
宮島地域の総観光客数 (資料：市役所保有データ)	309万人	344万人	◎	315万人	330万人
吉和地域の総観光客数 (資料：市役所保有データ)	55万人	42万人	△	60万人	66万人

■政策目標２－２ 人・もの・情報がスムーズに流れ、便利なまちに

まちづくり指標	策定時現況値 (平成19年度)	現況値 (平成22年度)	進捗 状況	めざそう値 (平成23年度)	めざそう値 (平成27年度)
ラッシュ時の西広島バイパス速谷交差点手前の渋滞距離 (資料：広島交通情報センター・ＲＣＣラジオの渋滞情報)	2 km	2 km	△	1 km	順調に 流れています
インターチェンジの一日平均利用台数の合計 (大野ＩＣ・廿日市ＩＣ・宮島スマートＩＣ) (資料：国土交通省中国地方整備局広島国道事務所・西日本高速道路株式会社作成データ)	18,600台	19,365台	○	20,500台	20,500台
バリアフリー化された駅の数 (資料：市役所保有データ)	ＪＲ駅 6 駅中 2 駅 (宮内串戸駅、前空駅)	ＪＲ駅 6 駅中 4 駅 (宮内串戸駅、前空駅、阿品駅、宮島口駅)	◎	ＪＲ駅 6 駅中 4 駅	ＪＲ駅 6 駅中 6 駅
公共機関の一日平均利用者数 (ＪＲ西日本、広島電鉄の合計) (資料：ＪＲ西日本旅客鉄道株式会社・広島電鉄株式会社作成データ)	59,452人 (H18)	60,829人 (H21)	◎	60,000人	61,200人
市ホームページへのアクセス数 (資料：市役所保有データ)	58万 9 千件	65万 6 千件	◎	65万件	70万件
電子化された申請の手続き数 (資料：市役所保有データ)	38種類	38種類	△	60種類 (H22)	70種類

■政策目標２－３ 盛んな産業とさまざまな働き場があり、成長するまちに

まちづくり指標	策定時現況値 (平成19年度)	現況値 (平成22年度)	進捗 状況	めざそう値 (平成23年度)	めざそう値 (平成27年度)
卸売・小売業の年間商品販売額 (資料：経済産業省「商業統計調査」)	2,504億円	—	—	— (調査なし)	2,600億円 (H25)
製造品出荷額等 (資料：経済産業省「工業統計調査」)	1,577億円 (H8)	1,488億円 (H21)	△	— (調査なし)	1,600億円 (H23)
起業家向けの研修などへの参加人数 (資料：市役所保有データ)	10人	10人 (H19～22累計)	△	50人 (H19～23累計)	100人 (H19～27累計)
市の制度などを活用し、起業した人数 (資料：市役所保有データ)	1 人	1 人 (H19～22累計)	△	5 人 (H19～23累計)	10 人 (H19～27累計)
女性就業率 (資料：総務省「国勢調査」)	46.8% (H17)	— (H24.4公表予定)	—	47.4% (H22)	48.0%
ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる企業（一般事業主行動計画策定状況） (資料：厚生労働省広島労働局作成データ)	16団体	38団体	◎	24団体	32団体

■政策目標２－４ はつかいちならでは個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに

まちづくり指標	策定時現況値 (平成19年度)	現況値 (平成22年度)	進捗 状況	めざそう値 (平成23年度)	めざそう値 (平成27年度)
市民センターの年間利用者数 (資料：市役所「公民館事業のまとめ」)	524,296人	480,292人	△	530,000人	535,000人
文化・スポーツに親しむ団体の登録人数 (資料：市役所保有データ)	11,325人 (H20)	11,978人	◎	11,500人	11,800人
シニアを対象とした市民センター講座の年間開催回数 (資料：市役所保有データ)	11講座	23講座	◎	15講座	20講座
市が行う起業研修の参加者数(50歳以上) (資料：市役所保有データ)	6人	6人 (H19～22累計)	△	30人 (H19～23累計)	54人 (H19～27累計)
景観ルールの策定区域数 (資料：市役所保有データ)	—	—	—	全市的なルール 1 重点区域のルール 0	全市的なルール 1 重点区域のルール 2
市が行う景観に関するセミナー、ワークショップなどの参加者数 (資料：市役所保有データ)	—	42人	○	100人 (H22～23累計)	300人 (H22～27累計)
主要農作物の出荷量(ホウレン草・春菊・ナス・里芋・玉ネギ・イチゴ) (資料：広島県「広島農林水産統計年報」)	382t (H17)	—	—	390t	420t
販売農家数 (資料：農林水産省「農林業センサス」)	686戸 (H17)	586戸	△	650戸	650戸

■政策目標２－５（戦略） 「宮島」を中心として、多くの人が訪れるまちに

まちづくり指標	策定時現況値 (平成19年度)	現況値 (平成22年度)	進捗 状況	めざそう値 (平成23年度)	めざそう値 (平成27年度)
宮島地域の総観光客数 (資料：市役所保有データ)	309万人	344万人	◎	315万人	330万人
宮島地域の宿泊客数 (資料：市役所保有データ)	35万人	34万人	△	38万人	41万人
外国人の旅行者数 (資料：厳島神社調べ)	114,794人	12万人	○	13万人	15万人
宮島観光公式サイトへのアクセス件数 (資料：市役所保有データ)	72万件	98万件	◎	85万件	100万件
市全体の総観光客数 (資料：市役所保有データ)	562万人	582万人	◎	580万人	600万人

経営理念 魅力ある資源を上手につなぎ、市民満足度を高めるはつかいち

■経営目標 3-1 市民主体の協働により、みんなで幸せを実感できるまちに ～地域経営の推進～

まちづくり指標	策定時現況値 (平成19年度)	現況値 (平成22年度)	進捗 状況	めざそう値 (平成23年度)	めざそう値 (平成27年度)
まちづくり懇談会、出前トークの年間開催回数 (資料：市役所保有データ)	25回	49回	◎	37回	50回
コミュニケーション能力・政策形成能力向上のための職員研修受講率 (資料：市役所保有データ)	4.9%	13.16% (H21～22累計)	○	20% (H21～23累計)	40% (H21～27累計)
NPO法人の設立数 (資料：広島県作成データ)	21団体	24団体	◎	24団体	28団体
市民活動センター機能が導入された地域数 (資料：市役所保有データ)	1 地域	2 地域	◎	2 地域	5 地域
職員が参加した市民円卓会議の年間開催回数 (資料：市役所保有データ)	28回	52回	◎	42回	56回
地域提案型協働事業（プロジェクト事業）の年間実施件数 (資料：市役所保有データ)	14件 (H20)	15件	○	20件	28件
市民活動スキルアップ講座の年間開催回数 (資料：市役所保有データ)	—	0 回	△	3 回	6 回

■経営目標 3-2 ムダ・ムリ・ムラをなくし、みんなが元気な市役所に ～行政経営の推進～

まちづくり指標	策定時現況値 (平成19年度)	現況値 (平成22年度)	進捗 状況	めざそう値 (平成23年度)	めざそう値 (平成27年度)
予算編成における財源不足の解消 (資料：市役所保有データ)	23.3億円	3.7億円	○	0.5億円	0 億円
財政の弾力性の回復（経常収支比率の減少） (資料：市役所保有データ)	99.3%	92.6%	◎	93.4%	91.7%
部局セルフアセスメントの実施率 (資料：市役所保有データ)	0%	22%	○	35%	100%
自分の組織で仕事の仕組みやシステムが日常的に見直されていると思っている職員の割合 (資料：市役所「職員アンケート」)	32.4% (H17)	—	—	50%	60%
職員の研修受講率 (資料：市役所保有データ)	9.0%	18.3%	◎	12%	15%
組織の経営理念や経営方針が分かりやすいと思っている職員の割合 (資料：市役所「職員アンケート」)	36.2% (H17)	—	—	50%	60%
組織の会議で議論が活発に行われていると思っている職員の割合 (資料：市役所「職員アンケート」)	39.7% (H17)	—	—	50%	60%